

国交振会報

Kanramachi International
Friendship Association

発行 公益財団法人甘楽町国際交流振興協会
発行日 2013年8月23日
事務局 甘楽町役場企画課
TEL 0274-74-3131

No. 79



歓迎夕食会(ホテルアミューズ富岡)

中国ハルビン市から第8次となる中学生研修団20名(団長、随員4名、団員15名)が、7月28日(日)に来町し、8月4日(日)まで滞在しました。

29日には、役場で歓迎式を終えた後に高崎市の商業施設を見学し、午後にはかんら保育園で、園児たちと一緒に遊ぶなどして、交流を図りました。



じゃんけん列車で仲良しに(かんら保育園)

同夜、町主催による歓迎夕食会が催され、中盤には、ハルビン市団員たちから、踊りや演奏が披露されました。中国の中学校には、「部活動」というものはなく、団員のみなさんは幼い頃から複数の習い事をしているということです。



張藝馨さん(13才)



于歆霖さん(11才)



王思懿さん(13才)



朱炯澤さん(14才)



団長も美声を披露

あどけない表情が一変し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれたた団員たちに、会場からは大きな拍手が送られました。そして、町長から、お土産の品と出来上がったばかりのハルビン市教育局との交流記念誌「翼広げて」が贈呈され、歓迎会は和やかなうちにお開きとなりました。

翌30日から8月1日まで、研修団一行は東京、富士山へと出かけ、小旅行を楽しみました。

1日の晩には、甘楽ふるさと館で中国語講座の受講生との交流会が催され、受講生たちは、日頃の勉強の成果を確かめるように中国語で積極的に会話し、友好交流に努めてくれました。



団長から歌のプレゼント(甘楽ふるさと館)

～友情が芽生えた夏～ 甘楽町の中学生との交流

[8月2日]

甘楽町中学生との交流会で、昼食(カレーライスとフルーツサラダ)を作りました。ハルビンの中学生は、勉強ばかりで普段は包丁など持ったことがないそうです。随行の先生方も家庭ではほとんど料理をしないと言っていました。交流会に参加してくれた甘楽町中学生24名と力を合わせて作ったカレーは、格別の味だったようです。



王副校長も奮闘中(ららかんら)



玉ねぎが目にしみるのは万国共通



同じ釜の飯を食べて、すっかり仲良しに

[8月3日]

甘楽第一中学校訪問。団長を始め、随行の先生方、そして、団員たちも日本の中学校に興味津々です。校舎内を案内され、OA教室や科学部を見学しました。

体育館では暑い中、女子バスケット部が部活動中。飛び入り参加で、シュート練習などを体験しました。団員を代表して男子5人が交流試合を行い、中でもバスケ経験のある宿金諾さん(13才)が、大活躍しました。

結果は、仲良く6対6の引き分けでした。

甘楽第二中学校訪問。生徒会役員を始め、大勢の生徒が体育館で出迎えてくれました。歓迎の意を込め吹奏楽部が演奏を披露。学校教育の一環である部活動の水準の高さに研修団の方々はとても感動していました。

歓迎の御礼に、ハルビン市研修団からモンゴルの踊りやジャズバレエなどを披露。本格的な衣装やメイクなどの演出もあり、エキゾチックな姿に甘楽町の中学生たちは魅了されていました。



女子バスケット部と交流試合(甘一中)



吹奏楽部が歓迎の演奏(甘二中)

お別れ夕食会。すっかり仲良しになった町内中学生24名も参加しました。バーベキューの後、

甘二中三年生が中心となり、皆で花火を楽しみ、町の中学生からはメッセージ入りのウチワをプレゼント。電話番号やメールアドレスも交換し、再会を約束しました。

短い滞在日数でしたが、互いを理解しようとする気持ち、屈託のない笑顔で距離を縮めていく中学生たちの姿はとても頼もしいものでした。この新たな友情が両国を結ぶ絆へと育っていくことを願って、再見！



笑顔が共通の言葉です(甘楽ふるさと館)



また会おうね！